

春宅会

(一社)春日部市歯科医師会・会長に村田睦剛先生が就任されました



春日部市歯科医師会・会長 村田睦剛

この度前任の山崎裕司先生の会長任期満了に伴い会長職を拝命した村田睦剛と申します。私共、春日部市歯科医師会は春日部市地域包括ケアシステムの推進事業に歯科医療者の立場から力強く協力貢献してゆきたいと考えております。私自身訪問介護事業には15年ほど前から携わっておりますが、それでもなお日々問題難題山積であると感じております。

社会情勢の変化も看過できない情勢であると感じつつも抜本的な解決ができない今こそ、現場の皆さんとともに、一医療者として私個人は無論のこと、春日部市歯科医師会として地域包括ケアシステム推進事業に積極的に参加させていただきながら邁進してゆこうと思う所存であります。

春コンでも以前に告知させていただきましたが、本会では埼玉県事業である「地域在宅歯科医療推進拠点」を運営し、歯科衛生士による毎日の相談受付、医療機関との調整体制を用意しております。地域包括事業とのよりスムーズな連携を実現できればとも考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。



春日部市歯科医師会・前会長 山崎裕司

前春日部市歯科医師会会長の山崎裕司です。平成22年4月1日より令和元年5月31日までの9年2か月務め、6月1日から村田睦剛先生に会長職を引き継ぎました。原稿を書くよう指示されたので、この機に春宅会の歴史を振り返ります。

超高齢化社会を迎えるに当たり、国の施政により県（保健所）主導で、平成25年、市と医師会、歯科医師会、薬剤師会、ケアマネ会の代表が集まり在宅医療部会を設立しました。平成27年3月在宅医療部会は解散し、同年4月から春日部市在宅サービス多職種連絡協議会（春宅会）へと移行しました。

同年4月15日にはふれあいキューブ1F多目的ホールで第1回春日部市医療・介護職研修会・交流会（春コン）が開催されました。現在は仲間も増えて、更に充実した活動を行っています。

行政と医療介護団体との協働事業体として、県内は固より全国的にみても屈指の団体である本会の益々の発展が、地域住民の健康長寿と安心・安全に直結することを改めて確認し、ご挨拶に代えさせていただきます。

春しん

2019年(令和元年)

第7号誌 春夏号

令和元年9月発行

【発行元】

春日部市地域包括
ケアシステム推進センター
(春進センター)

春日部市在宅サービス
多職種連絡協議会
(春宅会)



第9回春日部市介護事業部門連携・交流会 (第9回春コン・ケア)

令和元年8月20日(火) 於:東部地域振興ふれあい拠点「ふれあいキューブ」 参加者80名

テーマ:介護職に役立つ“お薬講座!”～薬についての疑問なんでもお答えします～

今回の研修は、利用者が日常生活の中で飲んでいるお薬について、講師に春日部市薬剤師会・宮田朋典先生をお招きし、研修・交流会を行いました。交流会では自己紹介から始まり、少しづつ時間が経過しグループワークが盛り上がり、会場からどよめきや笑い声もあり、終始和やかに行われました。アンケートから参加者皆さまのコメントを一部紹介します。

講師:一般社団法人春日部市薬剤師会 理事
めじろ薬局薬剤師 宮田 朋典 様



薬剤師、薬局など関係をもち、相談できるようにしていきたい。(居宅/CM)

初めて参加しました。各事業所さんの話を聞いて良かったと思います。(施設/CM)

お薬の疑問は日々感じる事が多く、薬剤師さんに、いつも助けて頂いてます。今後もこのような研修を望みます。(包括/CM)

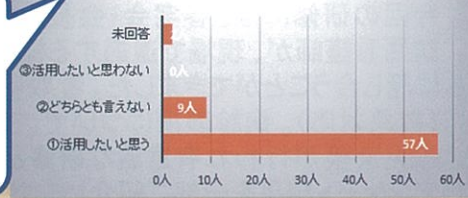


初めての出席でした。活発な意見が出ていて勉強になりました。ケアマネの仕事も初めてですので、このような場で、勉強させて頂きたいと思えます。(不明/不明)



アンケート結果では、「実際に自分の職場で活かすことができた」という回答が多かった。

1-2 今回の“お薬講座”の研修に参加し、実際に自身の職場で活かすことができたと思えたか?



始まりました! ☆ 訪問型サービスC ☆

「訪問型サービスC」とは...

目的:介護予防が必要と認められた方を対象に、保健、医療の専門職が利用者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれたサービスを短期集中的に提供することにより、日常生活の活動性を高め、家族での役割や地域への参加につなげることを目的としています。

対象者:要支援1・2または事業対象者(基本チェックリストに該当した者)で、次の項目のいずれかに該当する者

- ① 日常生活動作の維持改善が必要な者。
- ② 住民主体の通いの場などの社会資源の利用を目標としている者。

実施内容: ① 利用者の目標を達成するために、必要な専門職(看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士など)を選定し、「訪問型サービスC支援チーム(以下、チームC)」を結成します。
② チームCが利用者の自宅に訪問し、生活習慣や環境の改善及び悪化予防のための助言を行います。

実施頻度・期間

週1回以上の頻度で、3ヶ月間実施します。
(サービスの継続が必要と判断した場合には最長6ヶ月間。年1回)

利用料:無料です。



第10回 春サポ連携交流会

第10回春サポ連携交流会が、春日部厚生病院会議室にて行われました。今回は、春日部市多職種コミュニケーションツール「春コミュ(MCS)」について概要説明後に、登録の実際の説明が行われ、その場にて8名の方が、春サポ(グループ)に登録されました。連携の輪がひとつ広がりました。

平成31年3月11日(月)14:00~15:00 参加者9名



第8回 春コン・ケア(部門別) 訪問看護事業所連携研修・交流会

平成31年3月13日(水) 19:00~20:30 参加者9名

テーマ: 訪問看護事業所の現状と課題について人生の最終段階における医療・介護について

今回の研修には、春宅会・会長山崎先生が出席されました。訪問看護師が、現場で遭遇する様々な問題について、具体的に話し合うことができました。看取りの際の医師の対応と家族(救急対応)。病診連携について、交通上の問題など、活発に意見交換が行われ有意義な研修となりました。参加者からのアンケート結果を一部ご紹介します。



- ・他のステーションの方、先生様の様々な意見が聞いて勉強になりました。
- ・山崎先生と話し合いができ、とても勉強になり心強く感じました。
- ・Dr(医師)目線からのお話もたくさん聞いて良かったし、同じ気持ちを持った方が多くいることを知れて良かったです。

~人生の最終段階における医療・介護の研修会~

令和元年6月5日(水)19:30~21:00

この研修では、一般社団法人埼玉県医師会/埼玉県が企画制作したDVD「さあ始めよう、人生会議」の上映を行った後にACPの実施体験をして頂き、グループディスカッションが行われました。会場は和気あいあいと盛り上がりました。



第9回春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)

於: 東部地域振興ふれあい拠点施設(ふれあいキューブ) 令和元年5月14日開催

テーマ: 「春日部市における高齢者救急の課題と取り組みについて ~介護事業所と医療機関の連携に何が必要か考えよう~」

☆座長: 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会 副会長 竹田広樹先生

☆パネリスト: 在宅系サービス代表 在宅複合施設孝楽園 介護部長 福田直子様・相談員 青山貴大様
施設系サービス代表 特別養護老人ホーム おおまし 施設長 篠崎靖隆様
介護支援専門員代表 エフビー-居宅介護支援事業所春日部 ケアマネジャー 熊谷成美様



今回の春コンから、歯科医師会・薬剤師会の皆さまによる相談コーナーも設置されました。次回もご利用ください!

今回の研修・交流会を通して、様々な立場で働く専門職の皆さまから、共感の声や解決のために何が必要なのか? 実際の現場から、多数のコメントを頂いたため、皆さまの声を一部紹介します。(コメント数は163件)

- 1) 各々の立場から経験した症例も聞け、為になった。自身の経験でも課題だと感じていた内容が発表されていた為、自分だけが感じていた事ではないのだと再認識できました。「救急医療情報キット」は知らなかったため、参加して良かったです。
- 2) 救命救急対応の難しさ、ジレンマを多くの職種が抱えていることが改めて実感されました。グループ内でも、救命救急、延命治療、終末期医療への意思確認などが、共通様式などでできると良いのでは? 独居や高齢世帯が増えるこれから、ますます必要性があると話が出ました。

今回の研修・交流会は、前回に引き続きパネルディスカッション方式での取り組みを行いました。参加者によるアンケート結果では、今回のパネルディスカッションについての感想を98%の人が良いと答え、更に前回との比較でも、良いと答えた人の数は増加しています。実際の事例を通して問題を明確化していくことで、専門職それぞれの視点からみた具体的な解決策について活発な意見交換がなされました。

